

# 緑の相談所だより

-79号-

2002. 12. 1発行

編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所 ☎65-5553

## お正月飾り作り

日時 12月14日(土)

いずれも午前10時から12時まで

12月15日(日)

講師 野の花り沙 古川りさ子さん

材料費 1,300円 定員 各30名

持ち物 はさみ、古タオル、エプロン、作品お持ち帰り袋。



## 季節の花

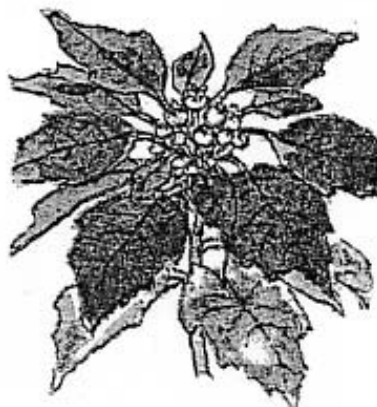
### ポインセチア

ショウジョウボク

*Euphorbia pulcherrima* 別名 猩々木

トウダイグサ科の低木

原産地 メキシコ



アステカ王国の時代からこの花を清純のシンボルとしていた他、赤色の染料や薬用として利用していたといわれている。

アメリカの初代メキシコ大使ポインセット氏が赴任地でこの花を見つけた。1825年早速アメリカに送り、それがヨーロッパに渡って急速に普及したといわれる。

ポインセチアとはJ. ポインセット氏の名前に由来する。

日本への導入は1887年。

一日の日長が12時間以下になると花芽の形成がはじまる。

9月になったら夕方5時頃から朝8時まで、株に約2か月くらい連続してダンボール箱をかぶせる。☑【短日処理】

◇日当たりのよい窓辺に置く。

◇暖房の熱、温風は避ける。

### 開花株の管理

◇水やりは鉢の表面が乾いたらたっぷりと。

◇緑の葉色を保つため2週間に一度液体肥料を与える。

◇適温20℃～25℃。最低温度15℃。

# 厳寒期の鉢物室内管理 ~ 12・1月

冬になりました、この頃の家は昼夜暖かく広く明るい窓もあり、冬の室内で育て楽しむことのできる植物の種類も豊富になってきました。とはいっても、これら植物の好む環境は一様ではありません。「温度が高い方がよく育ち、水と肥料を欲しがらるもの」「低い温度で冬はのんびり冬休み、水は少量、肥料も不要なもの」等様々です。長く又来年も楽しませてくれるよう出来る限りその植物に合った環境づくりをしてあげましょう。

## 「ポインセチア」

高い温度と日光を好みますので昼は暖かく明るい窓辺に置きます。夜も温度15℃以上に保たないと落葉します。長く楽しむために時々薄めの液肥を施します。

オンシツコナジラムの好物です、葉がベタベタと光りだす前に見つけ根気よく退治します。

花後、または落葉してしまった株は春まで涼しい場所で休ませ、暖かくなってから剪定、植替えし、育て直します。

## 「シクラメン」

明るい場所が好きです、昼の温度は20℃前後、夜は10℃程度、暖かすぎる部屋では長持ちしません、水やりは土の表面が乾いたらすぐに球根頂部にかからないように、液肥も10日に1回位必要。花がら、黄変した葉等は茎の根元をひねりながら抜き取り次の花の伸びを進めます。時々葉茎をかき分け株元に光を入れると元気を回復します。また、水は十分でも萎れが回復しない状態は、水のやりすぎ、肥料が多すぎて肥料やけする等で根が傷んでしまった場合に多くみられます。

## 「シャコバサボテン」

開花中は低温気味で長持ちします。水は控えめ、肥料は不要。花後は涼しい部屋に置き暖かくなる春まで生長を抑えておきます。この時葉先を1~2節摘み株の高さを揃えておきます、摘み取った葉先を挿木することもできます、春に古い株なら植替えします。

## 「アザレア」

10℃以下の寒いところで休んだ後、暖かい部屋に持ち込むと蕾がふくらみ開花します。開花中は低温気味(20℃以下)で花が長持ちします。水は少量、肥料不要。花後は花がらを摘み、春まで新芽が伸びないように寒い部屋に移動休ませておきます。

## 「エラチオールペコニア」

日当たりと高温を好みます。夜間温度は15℃以上に保ちます。光線不足では株が徒長し、良い花を着けません。昼夜の温度差が大きいと蕾を落とします。花を着けなくなったら切り戻し植え替えして株を再生させます。

## 「お正月に咲いたウメ」

花が咲いたら涼しい場所に、花が終わったら新芽を伸ばさないように寒い部屋に春まで置きます。水少量、肥料不要。

## 「ブーゲンビレア、ハイビスカス」

熱帯性の花木類で強い光線と高温を要求します。冬の室内は温度は確保出来ても日照量は不足勝で、育つためには良い環境とはいえませんので、いま咲いている花を楽しんだ後は水やりを控え低温状態にして株を休ませ、春になってから剪定し植替えるのが無難です。

## 「観葉植物」

強い光と高温が好きで種類が多く、冬の室内では比較的低温で水を控えめに生長を抑えるように管理をしますと、光の少ない部屋の隅でも長く緑が楽しめます。葉の汚れと乾燥を嫌いますので、時々葉に霧吹きします。

葉の表面がべたついたようになるカイガラムシの被害も多くなります、ブラシ等で拭き取るか、殺虫剤で駆除します。

# 正月を飾る縁起木

名称	別名	科名	言われ・原産地
マンリョウ 	万両	ヤブコウジ科	名前が財宝に通じることから、正月の縁起木として古くから栽培されている。日本、関東以南、中国地方。
センリョウ 	千両	センリョウ科	縁起のよい名前から正月の床飾りの生け花、寄せ植え鉢物などに広く使われる。 日本、中国以西地方。
カラタチバナ 	百両金 唐橘	ヤブコウジ科	1年以上も着果したままの姿を保つことから、子孫繁栄の意をもち、古くはダイダイタチバナとも呼ばれていた。 中国、日本、関東以西、四国、九州。
ヤブコウジ 	十両 闘鶏 [幸]	ヤブコウジ科	縁起ものとして正月の寄せ植えなどに使われる。 コンパクトな姿から『万両』に対して『十両』と呼ばれる。 日本、北海道南部、奥尻島、焼尻島に自生する。
ナンテン 	南天	メギ科	災難を転ずる『難はすべて天に任せたい』という祈りを込めての意味。 日本、中国、インド。
マツ 	松	マツ科	生命の象徴（不老）とされ、古来より正月（松の内）には欠かせない縁起木の筆頭。門松は雄松（クロマツ）雌松（アカマツ）を1対として立て、家に向かって左が雄松、右が雌松とする。クロマツ、アカマツは北海道中南部に多い。
タケ 	竹	イネ科	子孫繁栄の願いをこめる。中国原産、適地四国、九州、沖縄和名「孟宗竹」は、冬に母のために筍を採りに行った孝行な子供の名に因む。中国原産。
ウメ 	梅	バラ科	早春、寒さに負けずに花を咲かせる強いウメ。中国原産。
ユズリハ 	譲葉	ユズリハ科 (楳斗ウダイ科とする説もある)	古葉は新葉がしっかり生え揃ってから落葉する。新旧の交代の姿から子孫繁栄を願う。 日本、適地東南北部以南。
ダイダイ 	橙	ミカン科	果実は成熟してもなかなか落ちず、そのままにしておくと2～3代の果実が同時についていくため「代々」の名がある。 語呂あわせから子孫繁栄を願う。インド原産。
サカキ 	榊	ツバキ科	神事に欠かせない縁起木。日本、本州中部以西原産。

## 花ことば

はじめに・・・♪雑魚という名の魚はいない～雑草という名の草はない♪と小椋佳が歌っていますが、生き物にはそれぞれに個性があり主張があるという考え方は、日本人のみならず世界的なものといえます。そんなことを表していることのひとつに「花ことば」があるといえるでしょう。師走の多忙なこの時期、あなたの生活の中に、花に心を託してみませんか。

今回は、冬にまつわる花ことばを紹介します。

### ♣ポインセチア・・祝福・私の心は燃えている

♥犠牲を表す赤と、永遠の生命を表す緑はクリスマスを象徴する色なので、その二つの色を一本の茎の中に合わせ持つので、この時期に好んで飾られます。和名は猩々木という。猩々とは中国の架空の猿のことで毛が朱紅色で美しいという。祝福とはその鮮やかな朱紅色からきているのでしょうか。

### ♣クリスマスローズ・・私の心酉己を和らげてください

♥クリスマスのころに咲く、一重咲きのバラに似た花のためこの名がつけられています。キンボウゲ科に属し、根には毒がありますが少量なら薬になり、昔は狂気をさます効果があるとされてきました。この花ことばはそのことからきたのでしょうか。

### ♣ウメ（梅）・・・・高潔・忠実

♥中国から渡ってきたこの花は、万葉のころから愛されています。

「東風吹かば 匂いおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」という菅原道真の歌は有名で太宰府へ流された主を慕って、梅が一夜にして九州に飛び移ったという「飛梅」の伝説が残っています。この伝説からもこの花ことばがほうふつとされますね。

### ♣オモト（万年青）・・母性の愛・相続

♥常緑を保つ万年青といわれるとおり長寿を表し、赤い実は吉兆を表すものとされるなどから「縁起草」と古くから呼ばれています。また、内側の新芽が生じると外側の葉が落ちるので、永続、子孫繁栄の意で重用されたという。こんなことからこの花ことばが生まれたのでしょうか。

### ♣ネコヤナギ（猫柳）・自由・思いのまま

♥若芽が出る前に、ふわふわした銀紫色に光る花穂が猫のしっぽに似て愛らしく美しいものです。川辺などで、自然のなすがままに風に揺れ、しなやかに自由に伸びる姿を愛して、生け花ではお正月の花材に使われています。そんな柳の姿を思う時、この花ことばがおのずと連想されますがいかがですか。

### ♣スノードロップ・・・慰め・希望

♥白く愛らしい花が、つり鐘のように咲く姿を称して、イギリスでは「雪の雫」、フランスでは「雪を押し分ける花」、ドイツでは「雪の花」、日本では「大待雪草」と呼ばれています。この花が上記のようにそれぞれの国で呼ばれていることから、厳しい冬から春を待ちわびる人間の心情がよく出ていますね。

### ♣カトレア・・・・優美な貴婦人・貴方は美しい

♥一般的にはカトレアと呼んでいますが、本当はカトレーアで、イギリスの園芸愛好家ウィリアム・カトラー（1832没）を記念した名前です。歌謡曲にも歌われているように華やかな色と形から美しい女性にたとえられています。この花を見ていると、まさに花ことばそのものですね。

男は黙って、愛する人への贈り物にはいかがでしょうか。

おわりに・・・古来より人間は、花や木に「ことば以上のことば」を感じ生活の友としてきました。

私たちはもっともっとたくさんの「花ことば」を知って心の糧にしていきたいですね。

（上記は「花ことばファンタジー」中村俊子著をもとに作文しました）